

第 3 学 年

理 系

2025年度 国語科 年間授業計画表										
科目名	文学国語		単位数	2	学年・類型					
担当者		使用教科書	筑摩書房『文国708 文学国語』	副教材						
科目的目標 (指導目標)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次とのおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようとする。 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。									
評価の観点とその趣旨										
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。									
②思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。									
③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。									
評価方法										
授業態度・クラス内発表・課題・定期試験										
学習指導計画										
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの目標		評価の観点					
					① ② ③					
1 学期 前半	第2章 交差するドラマ 小説（一）	舞姫	①豊太郎とエリスの間に何があったのか、語りの時制や文体・時代背景なども意識して、物語を読み味わう。 ②夏目漱石「こころ」と読み比べて、「明治」という時代の特徴について話し合う。 ③我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ④人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>					
1 学期 後半	第2章 交差するドラマ 小説（一）	舞姫	①豊太郎とエリスの間に何があったのか、語りの時制や文体・時代背景なども意識して、物語を読み味わう。 ②夏目漱石「こころ」と読み比べて、「明治」という時代の特徴について話し合う。 ③我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ④人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>					
	第8章 調べとリズム 詩歌	小景異情	①選び抜かれたことばの、洗練されたリズムを味わう ②言葉の、想像や心情を豊かにする働きを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の意味することを理解する。							
2 学期 前半	第3章 新たな視座を得る 随想・評論（二）	絵画は紙幣に憧れる	①隠喩の機能を理解し、未知の見方を手に入れる ②本文のタイトルと、文中の表現に着目し、文学的なレトリックを駆使した文章を読み解く。 ③「絵画は紙幣に憧れる」という標題はどのようなことを表しているのか。本文を踏まえて話し合う。 ④芸術作品の「価値」について論じる。		<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>					
	第5章 表現を突き詰める 隨想・評論（三）	無常ということ	①筆者の心の動き・思考の進行に思わず釣り込まれ、深い思索へと導かれる、不世出の文章の秘密を考える。 ②この文章の発想・書き方にはどのような特色があるか、理解する。 ③人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。							

2 学 期 後 半	第8章 未来を問う 随想・評論（四） 現代文演習	寛容は自ら守るために 不寛容に対して不寛容 になるべきか	<p>①著者の、慎重にことばを選び紡ぎ出す姿勢や表現を学び、文学作品の読解に生かす。</p> <p>②村上春樹「沈黙」を読み、「寛容」であることの意義について話し合う。</p> <p>③文学作品を通して未来への思考を深める</p> <p>①限られた時間内に正確に読解する。</p> <p>②2種類の文章を比較検討する。</p> <p>③マーク式の回答を検討する。</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 学 期	現代文演習		<p>①限られた時間内に正確に読解する。</p> <p>②2種類の文章を比較検討する。</p> <p>③マーク式の回答を検討する。</p> <p>④難しい文章に挑む。</p> <p>⑤問い合わせに対して字数制限内で正しく回答する。</p>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
留意事項						

2025年度 国語科 年間授業計画表										
科目名	古典探究		単位数	2	学年・類型					
担当者		使用教科書	古典探究 古文編・漢文編(第一学習社)	副教材						
科目的目標 (指導目標)	<p>言葉による見方・考え方を働きかせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>									
評価の観点とその趣旨										
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。									
②思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。									
③主体的学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。									
評価方法										
授業態度・発問評価・発表・学習課題集の提出・定期テスト										
学習指導計画										
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの目標			評価の観点				
						①				
						②				
						③				
1 学期 前半	説話（一）	沙石集 「歌ゆゑに命を失ふこと」	①著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようにについて考えを深める。 ②説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 ③編者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主に助動詞に関して、理解を深める。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	隨筆（三）	枕草子 「宮に初めて参りたるころ」	①日記的文章を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ②隨筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。							
	史記の群像	史記「荊軻」	①刺客が存在した時代背景を知り、荊軻を始めとする登場人物の心理とともに、秦王暗殺事件の顛末を読み取る。 ②史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③作者の考え方や目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。							
1 学期 後半	物語（四）	源氏物語 「須磨」	①長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ②長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
	史記の群像	史記「荊軻」	①刺客が存在した時代背景を知り、荊軻を始めとする登場人物の心理とともに、秦王暗殺事件の顛末を読み取る。 ②史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③作者の考え方や目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。							

2 学 期 前 半	評論（一）	無名抄 「深草の里」	①和歌に関する多様な考え方の一端に触れ、俊惠が考える和歌の評価基準を理解する。 ②歌論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。 ④松尾芭蕉とその門人たちの、句作をめぐる具体的な苦心や理念を読み取り、俳諧に対する理解を深める。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
	評論（二）	去来抄「行く春を」	②俳諺という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。		
	史記の群像	史記「張儀」	①遊説家が活躍した時代背景を知り、張儀の行動や自信、蘇秦が張儀に仕掛けた策謀の顛末を読み取る。 ②史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ③作者の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ④作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ⑤語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ⑥我が国文化と外国文化との関係について理解を深める。		
	漢詩の鑑賞	古体の詩「石壕吏」	①構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ②漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ③漢詩の特徴について理解を深める。 ④漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ⑤我が国文化と外国文化との関係について理解を深める。		
2 学 期 後 半	古典演習		①限られた時間内に正確に読解する。 ②2種類の文章を比較検討する。 ③マーク式の回答を検討する。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
3 学 期	古典演習		①限られた時間内に正確に読解する。 ②2種類の文章を比較検討する。 ③マーク式の回答を検討する。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	
留意事項					

2025年度 地歴公民科 年間授業計画表						
科目名	地理探究		単位数	3	学年・類型	
担当者		使用教科書	新詳地理探究（帝国書院） 高等地図帳（二宮書店）	副教材	詳細地理資料COMPLETE2025（帝国書院） 地理統計Plus-webGIS付き（帝国書院）	
科目的目標 (指導目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</li> <li>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</li> <li>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようすることの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>					
評価の観点とその趣旨						
① 知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
② 思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。					
③ 主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養おうとしているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される者としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようすることの大切さについて自覚している。					
評価方法						
① 知識・技能について・・・定期テスト、課題テスト						
② 思考力・判断力・表現力について・・・定期テスト、思考力を問う小テスト等						
③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業中の諸活動における取り組みの様子、自己評価等						
学習指導計画						
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとめごとの目標	評価の観点		
				①	②	③
1 学期 前半	第1部 現代世界の系統 地理的考察	第1章 自然環境 1. 地形 2. 気候 3. 日本の自然環境 4. 地球環境問題	◆地形、気候、生態系などにわたる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 ◆地形、気候、生態系などにわたる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		第2章 資源と産業 1. 農林水産業 2. 食料問題 3. エネルギー・鉱産資源 4. 資源・エネルギー問題 5. 工業 6. 第3次産業	◆資源・エネルギー・農業、工業などにわたる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 ◆資源・エネルギー・農業、工業などにわたる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

1 学 期 後 半		第3章 交通・通信と観光、貿易 1. 交通・通信 2. 観光 3. 貿易と経済圏	◆交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 ◆交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		第4章 人口、村落・都市 1. 人口 2. 人口問題 3. 村落と都市 4. 都市・居住問題	◆人口、都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 ◆人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		第5章 生活文化、民族・宗教 1. 衣食住 2. 民族・宗教と民族問題 3. 国家の領域と領土問題	◆生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 ◆生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		第2部 現代世界の地誌的考察	第1章 現代世界の地域区分 1. 地域区分	◆世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解する。 ◆世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付ける。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		第2部 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域 1. 東アジア 2. 東南アジア 3. 南アジア 4. 西アジア 5. アフリカ	◆幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解する。 ◆幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。 ◆現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などを着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 学 期 前 半		第2部 現代世界の地誌的考察	第2章 現代世界の諸地域 6. ヨーロッパ 7. ロシア 8. 北米 9. 南米 10. オセアニア	◆幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解する。 ◆幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。 ◆現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などを着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		第3部 現代世界におけるこれからの日本 日本の国土像	第1章 持続可能な国土像の探究 1. 将来の国土の在り方 2. 持続可能な日本の国土像の探究	◆現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 ◆現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現する。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
留意事項						

2025年度 数学科 年間授業計画表								
科目名	数学III・数学I II III ABC演習	単位数	3・3	学年・類型				
担当者		使用教科書	高等学校 数学 I II III ABC (数研出版)	副教材 クリア一数学III+C(数研出版) チャート式数学III+C(数研出版)				
科目的目標 (指導目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</li> <li>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</li> <li>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え方数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</li> </ul>							
評価の観点とその趣旨								
① 知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。							
② 思考・判断・表現	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。							
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようしたり、粘り強く考え方数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようしたりしている。							
評価方法								
記述の点検、確認、分析 行動の点検、確認、分析 (定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取組状況、授業への取組状況 等)								
学習指導計画								
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの目標	評価の観点 ① ② ③				
1学期前半	【数学III】 第1章 関数	—	・分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>				
	第2章 極限	第1節 数列の極限	・数列の極限の概念を理解し、様々な数列の極限が求められるようにする。無限級数については、その極限と各項の極限との関係を理解し、正しく考察できるようにする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>				
		第2節 関数の極限	・数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連續性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>				
	第3章 微分法	第1節 導関数	・微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>				
第2節 いろいろな関数の導関数		・導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>					
		・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>					
1学期後半	第4章 微分法の応用	・関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>					
	第1節 導関数の応用	・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>					
第5章 積分法とその応用	第1節 不定積分	・様々な関数の不定積分やその計算法則を、導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>					

2 学 期 前 半	第5章 積分法とその応用	第2節 定積分	・様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		第3節 積分法の応用	・定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 学 期 後 半 ・ 3 学 期	数学 I II ABC (総合演習)	数学 I II ABC全範囲	・大学入試問題集を利用し、入試頻出の解法が必要な問題、総合的な力を試す問題を中心に扱い、演習を通して、入試に必要な技能を活用する態度と思考力・判断力を身に付ける。 ・数学的思考力を高め、論理的に判断、表現する能力を身に付ける。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	数学 I II ABC (マーク式演習)		・マーク式問題演習を通して、これまで身に付けた知識・技能を適切かつ迅速に活用する能力を高める。		<input type="radio"/>	
	数学III (記述演習)	数学III全範囲	・大学入試問題集を利用し、入試頻出の解法が必要な問題、総合的な力を試す問題を中心に扱い、演習を通して、入試に必要な技能を活用する態度と思考力・判断力を身に付ける。 ・数学的思考力を高め、論理的に判断、表現する能力を身に付ける。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
留意事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習は予習が前提の授業です。予習は、問題解決に向かって、既習事項を活用したり、出題者の意図を読み取ったりしながら、自ら試行錯誤する学習姿勢が不可欠です。</li> <li>・数学の問題の答えは1つですが、解法は様々あります。他人が作成した解法を安易にまねる学習方法では、理系入試に対応する学力は身につきません。定期テストや実力テストも本格的な学力が身についたかどうかを確認するテストになります。必要に応じてテキストを購入します。</li> </ul>				

2025年度 数学科 年間授業計画表								
科目名	数学ⅠA演習・数学ⅡABC演習	単位数	4・2	学年・類型 3年 理系・選択				
担当者	使用教科書	高等学校 数学ⅠⅡABC (教研出版)	副教材	キートレーニング数学演習ⅠⅡABC (教研出版)				
科目的目標 (指導目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</li> <li>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</li> <li>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</li> </ul>							
評価の観点とその趣旨								
① 知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。							
② 思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。							
③ 主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようしたりしている。							
評価方法								
記述の点検、確認、分析 行動の点検、確認、分析 (定期テスト、小テスト、課題レポートやその他提出物等への取組状況、授業への取組状況 等)								
学習指導計画								
時期	単元名	使用教科書項目	単元や題材など内容のまとまりごとの目標	評価の観点 ① ② ③				
1 学期 前半	【数学Ⅱ】 ・式と証明 ・複素数と方程式 ・図形と方程式 ・三角関数 ・指數対数 ・数列	数学ⅠAⅡBC全範囲	・教科書レベルから章末レベルの問題・入試頻出の解法が必要な問題を中心に扱い、演習を通してこれまで学んだ内容の理解を深め、入試に必要な技能を身に付ける。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>				
1 学期 後半	【数学ⅡBC】 ・ベクトル ・複素数平面 ・2次曲線 ・微分法・積分法		・計算技能を高めるとともに、事象に対して筋道を立てて考え、論理的に判断する能力を身に付ける。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>				
2 学期 前半	数学ⅠⅡABC (総合演習)		・大学入試問題集を利用し、入試頻出の解法が必要な問題、総合的な力を試す問題を中心に扱い、演習を通して、入試に必要な技能を活用する態度と思考力・判断力を身に付ける。 ・数学的思考力を高め、論理的に判断、表現する能力を身に付ける。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>				
2 学期 後半	数学ⅠⅡABC (総合問題) (マーク式演習)		・大学入試問題集を利用し、入試頻出の解法が必要な問題、総合的な力を試す問題を中心に扱い、演習を通して、入試に必要な技能を活用する態度と思考力・判断力を身に付ける。 ・数学的思考力を高め、論理的に判断、表現する能力を身に付ける。 ・マーク式問題演習を通して、これまで身に付けた知識・技能を適切かつ迅速に活用する能力を高める。	<input type="radio"/> <input type="radio"/>				
3 学期	数学ⅠAⅡBC (マーク式演習)		・マーク式問題演習を通して、これまで身に付けた知識・技能を適切かつ迅速に活用する能力を高める。	<input type="radio"/>				
留意事項		演習は予習が前提の授業です。予習は、問題解決に向かって、既習事項を活用したり、出題者の意図を読み取ったりしながら、自ら試行錯誤する学習姿勢が不可欠です。数学の問題の答えは1つですが、解法は様々あります。他人が作成した解法を安易にまねる学習方法では、理系入試に対応する学力は身につきません。必要に応じてテキストを購入します。						